

海外における日本文化研究者の顕彰を助成

なぜクラレが人文科学?と思われるかもしれませんが、本来テクノロジーとは自然環境への配慮を保ちつつ人々の心豊かで快適な暮らしに貢献するべきもので、人間と社会を深く探求する人文科学に寄与することはクラレにとって大きな意義を持ちます。このような思いから、クラレ財団は人間文化研究機構とタイアップし、国外において日本に関する人文科学分野の研究で功績を上げた研究者を顕彰する「日本研究国際賞」を助成しています。

人間文化研究機構とは

人間文化研究を推進する6つの大学共同利用機関を支え、研究資料の整備・提供などを通して、さらなる研究の発展を図る法人として、2004年に設置されました。

「日本研究国際賞」を通して日本文化を世界に広める

「日本研究国際賞」は、日本研究の国際的な発展と日本文化の理解の深化を目的に、クラレ財団の協力の下に人間文化研究機構が創設した顕彰です。受賞者は、海外を拠点に日本の文学、言語、歴史、民俗、民族、環境などの研究において優れた成果を上げ、日本研究の国際的な発展に多大な貢献をした研究者で、クラレの役員も選考委員を務めています。この顕彰の普及を通して、国際社会における日本のプレゼンスの向上に貢献しています。



これまでの受賞者

※受賞者の所属および職名は、受賞当時のものを記載しています。



第1回
ハルオ・シラネ
(Haruo Shirane)氏

コロンビア大学
東アジア言語・文化学部
教授、学部長

主な研究テーマ

- 日本古典(『源氏物語』『奥の細道』など)
- 「カノン論」「環境批評」など新たな文学・文化研究方法論の提起 など



第2回
アンドルー・ゴードン
(Andrew Gordon)氏

ハーバード大学
リー&ジュリエット基金
歴史学部教授
ハーバード大学
ライシャワー日本研究所教授

主な研究テーマ

- 近代日本労働史
- 日本近現代史 など



第3回
ジャン＝ノエル・ロベール
(Jean-Noël Robert)氏

コレージュ・ド・フランス教授

主な研究テーマ

- 日本仏教
- 宗教理解における漢文とラテン語の役割を比較した聖語論(ヒエログロシア) など



第4回
ヨーゼフ・クライナー
(Josef Kreiner)氏

ボン大学名誉教授
法政大学国際日本学研究所
客員所員

主な研究テーマ

- 文化人類学
- 日本学 など



第5回
柴谷 方良
(Masayoshi Shibatani)氏

ライス大学
ディディ・マクマートリー
人文学教授、言語学名誉教授
神戸大学名誉教授

主な研究テーマ

- 日本語学
- 一般言語学
- 言語学理論
- アジア諸言語学 など



第6回
キャロル・グラック
(Carol Gluck)氏

コロンビア大学
歴史学教授
(ジョージ・サンソム教授職)

主な研究テーマ

- 日本近現代史 など